

# 大型捕獲檻によるカラスの捕獲と追い払いによる被害対策の有効性

増田 美咲・澤田 誠吾

## 研究の要旨

2013～2019年、出雲市の牧場の敷地内に設置された大型捕獲檻とロケット花火などでの追い払いによるカラスの被害軽減への効果について調査した。大型捕獲檻では600～1,500羽/年度が捕獲され、そのうち2016～2017年度の捕獲個体はほとんどがハシブトガラスであった。また、繁殖可能な成鳥が50～93%を占めたことから、付近に生息するカラスの個体数の低減に一定の効果があったと考えられた。牧場での被害は、牛舎内の濃厚飼料の食害と牛が嘴で突かれる被害であった。なかでも、飼料の食害は年中発生していたが、継続的な追い払いによって被害は減少した。また、捕獲と追い払いによって、牧場へのカラスの飛来数も減少した。したがって、カラスの被害対策は、捕獲に併せて追い払いの実施が有効と考えられた。

## 関連図表



写真1 大型捕獲檻によって捕獲された多数のカラス

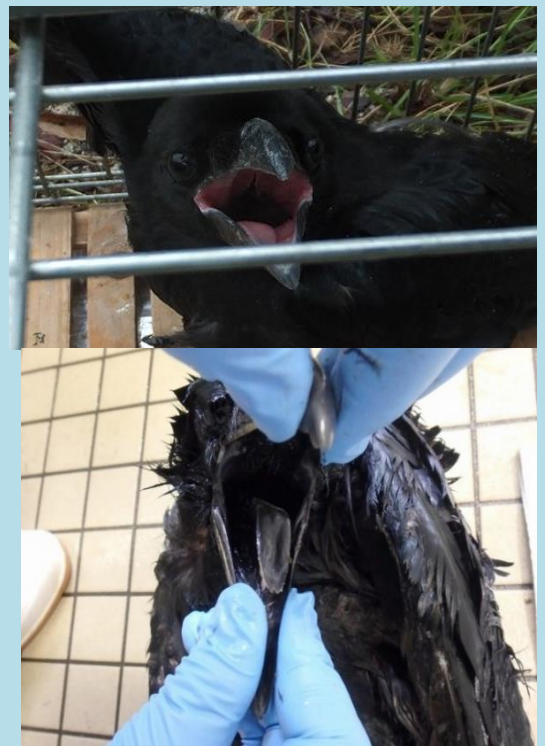


写真2 舌斑がピンク色の幼鳥（上）と黒色の成鳥（下）

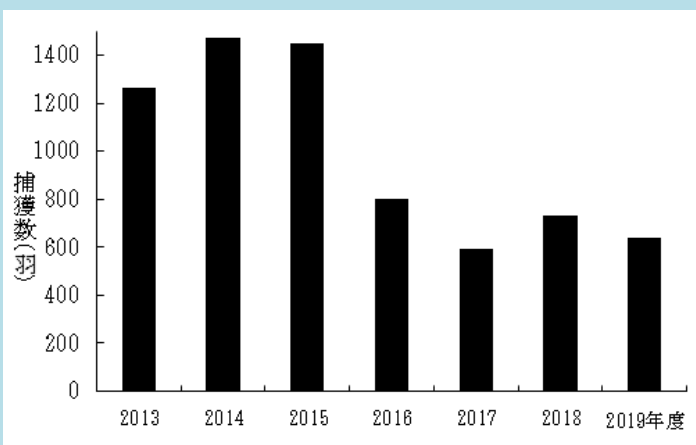


図1 大型捕獲檻による捕獲数の推移

MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER  
島根県 中山間地域研究センター

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207

担当科 : 鳥獣対策科  
問い合わせ先 : 0854(76)3818  
E-mail : chusankan@pref.shimane.lg.jp